



## 暫定版ドラフト

2023年 ICGN 年次バーチャル・ジャパンフォーラム

共催：東京証券取引所

実効的なガバナンス：真の改革に向けた具体的な行動の実践

2023年9月13日 16:00～18:30（日本時間）

本年4月、金融庁は「コーポレートガバナンス改革の実質化に向けたアクション・プログラム」を公表しました。これは、日本のコーポレートガバナンス・コードの推奨内容の実質的な運用を促進することを目的としています。特に資本配分に関する取締役会の監督、持続可能性のガバナンス、独立社外取締役の実効性の改善に重点が置かれています。これに沿って、東京証券取引所はこれらの点について上場企業（特にプライム市場上場企業）に引き続きの改善を要望しています。市場はこれにどう反応するのでしょうか？日本企業に対するガバナンスへの期待は現実的でしょうか？どの問題を優先する必要があるのでしょうか？またその理由は何でしょうか？

16:00 - 16:05 ICGN、ケリー・ワリング CEO からの挨拶

16:05 - 16:10 東京証券取引所 岩永守幸代表取締役社長からの挨拶

16:10 - 16:20 金融庁 井藤英樹企画市場局長による基調講演

16:20 - 17:20 現状に関する企業の見解

企業の代表者がアクション・プログラムについて意見を述べ、課題とメリットについて検討します。どのようなガバナンス改革を優先すべきでしょうか？投資家やステークホルダーとの対話を改善するためにどのような方策が講じられていますか？実効的な対話を妨げる法的な障害はありますか？また、それらはどのように克服できるのでしょうか？

- ・ 小野塚恵美、社外取締役、武蔵精密工業、エミネット・グループ CEO
- ・ 首藤邦之氏、三井住友信託銀行エグゼクティブ・アドバイザー
- ・ 橘・フクシマ・咲江氏、日本取締役協会副会長

司会：内ヶ崎 茂氏、HR ガバナンス・リーダーズ代表取締役社長

17:20 - 18:20 投資家の対応と推奨事項

国内外の有力投資家がこれまでのガバナンス改革の実効性およびアクション・プログラムについて意見を述べ、企業が挙げた優先課題を検討します。投資家自身は、自らのスケジュールシフトの情報開示と実務をどのように改善しているのでしょうか？長期的な企業価値を維持し向上させるために、彼らは企業とどのように関わっているのでしょうか？

- ・ 井口譲二氏、ニッセイアセットマネジメント、チーフ・コーポレートガバナンス・オフィサー、執行役員



**ICGN**

International Corporate Governance Network



- ・ エリッサ・センシグ氏、ノルジェス・バンク・インベストメント,  
シニア ESG アドバイザー、ノルウェー・

・

- ・ 司会：小平龍四郎、日本経済新聞社論説委員兼編集委員

18:20 - 18:30 ICGN からの閉会の挨拶